

第11回大阪大学フロンティア産業バイオシンポジウム

大阪大学産業バイオ120年(2)

ビール産業の魅力を探る

参加費
無料

大阪大学大学院工学研究科

共催行事

大阪大学 醸造・醗酵・応用生物工学科同窓会(尚醸会)

平成29年3月10日(金) 14時30分~17時10分 (参加費無料)

はじめに
あいさつ

大阪大学大学院工学研究科 教授 村中俊哉
大阪大学大学院工学研究科 教授 研究科長 田中敏宏

14:35-15:15

●アサヒグループホールディングス株式会社 社友(前 代表取締役副社長) 川面 克行氏
『ガラバゴス化した日本のビール産業』

明治時代の初期に日本のビール産業は誕生した。ビールの味は当時のものと大きくは変わらないだろうがビール産業のおかれている環境は大きく変わった。世界各国のビール会社を統合するビール会社が出現し世界市場のシェア1/3超えを狙っている。一方、日本のビール会社は安売り合戦で激突したシェア争い。巨大ビール会社から狙われる日本市場。どうする日本!!

15:15-15:55

●サントリービール株式会社 常務取締役、生産研究本部長、商品開発研究部長 岡 賀根雄氏
『『やってみなはれ』から生まれたサントリービール』

今から54年前の1963年、大手ビールメーカーとして最後に業界参入したサントリー。その誕生は、現在もグループ全体の本質ともいえる『やってみなはれ』、から始まりました。その挑戦の歴史、プレミアムビール市場の創出などのエピソードを交えながら、ビールの魅力を伝えたいと思います。

16:00-16:40

●サッポロホールディングス株式会社 グループ品質保証部長 仲本 滋哉氏
『サッポロの技術開発：ビールからバイオへ』

サッポロビールは1876年設立の「開拓使麦酒醸造所」を起源とするが、事業領域を酒類から飲料・食品・外食・不動産、さらに海外へと広げ、企業グループとして創業140年を迎えた。今回は、グループ全体の事業について紹介するとともに、根幹となるビールの品質向上、商品開発に向けた技術開発について解説する。

16:40-17:20

●キリンビール株式会社 執行役員 生産本部生産部長 前原 正雄氏
『ある醗酵工学科出身者の30年のビール会社での歩み』

昭和60年に学部、62年に修士課程を卒業し、キリンビールに入社後、会社でどんな仕事をして来たのかを中心にお話し、ビール市場の動向にも触れます。国内勤務が長いですが、出向や海外勤務(中国)の経験も交え、ビールを通して多くの人と巡り合い、学んだ事、ビール造りの醍醐味を紹介します。また、入社直後、工場の醸造担当配属となり、大学での学びが専門性や仕事に非常に役立ち、大学には非常に感謝しています。

17:20-17:30

●大阪大学フロンティア産業バイオイニシアティブ国際研究拠点におけるこれまでと今後の活動について
大阪大学大学院工学研究科 教授 大政健史

17:40~ 交流会 (一般4,000円/学生1,000円) (金額予定)

ご関連の皆様

大阪大学に産業バイオの種が蒔かれたのは1896年、大阪工業学校醸造科の設立に始まります。そこで、創始120年を記念して、大阪大学の同窓生による産業バイオに関するシンポジウムを開催致します。

聴講無料ですので、是非ご参加ください。

主催:大阪大学フロンティア産業バイオイニシアティブ国際研究拠点

講演会は当日参加も可能ですが、できれば事前登録(3月2日〆切)をご利用ください。お名前、ご所属、懇親交流会の参加・不参加を記載し、e-mailにてお願いします。

担当:大阪大・院・工学研究科・生命先端工学専攻 産業バイオ事務局

sangyo-bio@bio.mls.eng.osaka-u.ac.jpまで、お送りください。

コチラ→

詳細は<http://www.bio.eng.osaka-u.ac.jp/>にて



とき

3月10日(金)

シンポジウム(14時半~)
交流会(17時40分~)

大阪大学吹田キャンパス(吹田市山田丘2-1)

講演会:サントリー記念館メモリアルホール

交流会:U1E棟15階 レストラン ラ・シェーナにて

ところ

